

平成28年度年度の学校評価
ア 自己評価結果等

重点目標	本校におけるキャリア教育をさらに推進し、自己の将来を考えさせ、自ら向上しようとする意欲を引き出す (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の追求 (2) 学習活動の充実 (3) 基礎的生活習慣の確立 (4) キャリア教育の推進 (5) 「ものづくり基盤人材育成事業」の推進 (6) 地域、中学校に対する積極的な情報発信 (7) 新入試制度への円滑な移行 (8) 5年先・10年先を見据えた本校における工業教育の在り方(岡工チャレンジ2016)		
担当	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務部 各学年	P T A関係の行事内容の検討	・ P T A総会・役員会・専門委員会・学校行事等について、より内容が充実するように検討する。	・今年度より P T A総会の日程を変更して、運営しやすいように改善した。また P T A活動も岡工祭での制限リサイクルへの取り組みや、校外研修会の内容を充実させた結果、保護者の参加数も増えてきた。今後も行事等の内容については、検討していく必要がある。
教務部 各学年	基礎学力の向上	・授業を受けるマナーについての指導を徹底し、学習習慣を身に付けさせ、基礎学力の向上を図る。 ・生徒が積極的に参加する授業を目指し、指導法を研究する。	・1、2学期ともに追試験該当者が増加し、学年末の追認考査該当者が増加した。合格率も低下し、学習意欲の向上を図る手立ての再考が必要である。今後も授業改善ならびに評価の改善を図ることを周知徹底する。 ・学習指導要領の趣旨を、教職員の共通理解のもとに周知徹底する。
	キャリア教育との関わりを意識した工業高校における道徳教育の実践により、道徳教育の充実を図る	・各教科・特別活動・学校行事などにおける道徳教育の指導方針、内容及び時期を明確にする。	
生徒指導部 各学年	基本的生活習慣の確立	・挨拶の励行と遅刻の減少を起点とし、基本的生活習慣の確立及び自立心の向上に努める。	・校内での挨拶は、しっかりとできる生徒が多い。遅刻総数は、昨年度より増加しているが一昨年並である。 ・交通事故の報告件数は、やや増加している。特に1年生の交通事故が目立つ。自転車の警告票で指導を受けた生徒が多く、一時停止無視、イヤホン、右側通行などが主である。交通安全対策の充実を図っていききたい。 ・全教職員の協力のもと、円滑な導入ができた。情報モラルの向上をはかっていきたい。
	自転車運転マナーの向上	・登校交通指導の実施及び警察署や地域との連携を密にし、交通マナーの向上に努める。	
	スマホ・携帯電話等の利用ルールの定着	・全教職員協力のもと、スマホ・携帯電話等の利用ルールの定着に努める。	
生徒会部	人間関係形成と社会形成能力の向上	・ボランティア活動を通して、地域社会に貢献し、社会での生徒自身の役割を認識させる。	・活動の活性化を図り、充実した取り組みを行うことができた。 ・効率よく活動できるように年間スケジュールを作成した。さらなる効率化を目指したい。
	学校行事への効率的な取組	・行事の内容や校内の係・分担について検討する。	
保健部	環境美化活動の推進	・美化委員の環境美化活動の充実。	・計画通り実施することができた。 ・組織づくりは手つかず。次年度は、特別支援教育委員会の開催と、何らかの支援を要する生徒の指導計画を作成することを目指す。
	特別支援教育の推進	・特別支援教育活動の組織づくりを進める。	
図書部	皆の利用し易い図書館の構築	・ casa, Noah を利用した、書籍管理と貸出しシステムを作り上げていく。 ・生徒・職員の読みたい本を選定することにより、図書館利用者の増加を促す。	・今後も、情報検索の精度を向上させることで、目的の書籍にすぐ到達出来るようシステムを構築し、利用しやすい図書館を目指す。 ・岡工祭・図書館文化行事・ポスターコンクール等に参加することで、生徒たちが自己を表現し、お互いに関わり合って、さらによいものを作り上げていくよう指導が必要である。
	人間関係形成・社会形成能力の育成	・イベントへの参加や自分たちの好きな小説を紹介することで、人間関係を形成するとともに、さまざまな分野の読書をすることで人間としての幅を広げる。	
進路指導部 各学年	将来設計をふまえた望ましい職業観、勤労観の育成 コミュニケーション能力の向上	・ガイダンスや外部講師の講話、進学説明会等を通して、学年ごとに適切な目標を持たせ、意識の向上を図る。 ・就職模試や進学補習を実施し、進路実現に必要な学力の育成を図る。 ・面接・グループワークの指導を充実させる。	・各種ガイダンスにより、生徒自身の進路に対する意識の向上が見られるが、より生徒の現状にマッチした進路行事に改良したい。 ・外部講師による公務員講習会を実施し、成果が得られた。次年度も実施予定である。 ・全職員による面接指導を行い、一次内定率が上昇した。一方、グループワークを苦手とする生徒がいるので対策を考えたい。
工務部 各学科	資格取得指導の充実	・生徒自ら資格取得に意欲的に取り組み、ジュニアマイスター取得者が増加するように働きかける。 ・各種資格試験の実施方法を検討し、業務の効率化を図り、担当者の負担軽減に努める。	・各先生方のご協力により、多くの資格や難関の資格に挑戦し、取得できるようになった。 ・各種試験実務処理について、各科先生方の負担を減らす工夫をしていきたい。 ・質および量の両面における充実をはかっていきたい。そのことから、生徒の技術・技能の向上を目指したい。
	キャリア教育の充実	・地元企業との連携を強化し、インターシップ、ものづくり基盤人材育成事業、ものづくりスキルアップ講座へ積極的に参加させる。	
研修情報部	教員研修の充実	・初任者研修を早期に開始し、研修内容の検討を図り、効果的な研修を目指す。 ・職員の情報に関する知識の向上を目指す。	・担当の先生方の協力で順調に実施することができた。 ・一部の先生方への技能伝達はできたが、全体的な底上げには若干不足している面があった。 ・生徒の協力で、アウトラインの変更にはめどがついたが、完成には至らなかった。 ・余裕を持った容量での共有フォルダの運用を目指したい。
	ホームページの充実と校内ネットワークによる校務の効率化	・ホームページの充実を図る。 ・共有フォルダを利用した、効率的かつ安全性の高い運用を図る。	
総合評価	・各担当が教育目標や重点目標の達成に向けて、検討や改善を重ねている成果が少しづつ現れている。 ・生徒の交通マナーをはじめとする基本的生活習慣や学習意欲の向上など、今後も学校全体として工夫していくことが大切である。		

